大正５年５月５日木藤精一郎創立

やまゆき会会報

平成 30 年１０月号

例　会　報　告

<u>台高山脈：　明神岳～桧塚奥峰（1420m）＜テント泊＞</u>　上級C・中級C

8 月 4 日（土）～5 日（日）　担当：CL松川元信（B 班）、SL原田佳忠（A 班）　参加者 5 名

8 月 4 日（土）　晴

（B 班）　上級C　担当：松川元信

初日は快晴の猛暑日。近鉄大阪線鶴橋駅ホームに集合して乗車前に、食材、テントなどの共同装備を配分する。電車に乗り榛原駅で下車する。奈良交通バスに乗換えて菟田野バス停で降りる。バス停では予約の東吉野村コミュニティバスの代行タクシー2 台（200 円／人）に分乗して大又バス停に向う。運転手さんと交渉して、大又林道途中まで延長してもらい追加料金を支払い降りる。そこから明神谷登山口まで行きミーティングを行う。

登山道に入りしばらく登ると橋の手前で、B班（上級）はA班（中級）と分かれて明神平に先行する。大又川の渡渉を四度繰り返して、つづら折りの登山道を登ると源頭部の水場に着く。ここで炊事や飲料水の給水を行う。明神平到着後にA班の到着を待ち、重いザックを預けて、サブザックに持ち替えて桧塚を目指す。明神岳に向かう稜線からは、大峰山脈や南台高山脈の山並みが一望できる。明神岳に着いて、休息中の登山者に依頼して記念撮影を行う。判官平を越え桧塚奥峰頂上に向かう登りからは、高見山、兜岳、鎧岳や倶留尊山が見える。大きな標識のある頂上からの眺望は素晴らしく目前には桧塚が見える。三重県では桧塚奥峰が県境に接する山を除くと最高峰になる。炎天下の中を桧塚に着く。三等三角点標石があるが眺望は無く、記念撮影後に来たコースを明神平に戻る。A班は、猛暑の明神谷の登りで疲れが出て明神岳登頂を止め、既にテントを設営して東屋でくつろいでいる。暖かいコーヒーサービスを受けてぐったりした体に生気が戻る。B班のテント設営と並行して夕食の準備が始まる。メニューは、野菜と肉が盛りだくさんの煮込みうどんでした。予想外のアブの大群に悩まされながら日没まで歓談して就寝した。

コースタイム

近鉄鶴橋駅（7:14）＝榛原駅(8:16)＝菟田野バス停(8:40)＝大又林道(9:20)～明神谷登山口(9:45)～水場・昼食(11:40-12:16)～明神平(12:27-12:32)～明神岳(13:00)～判官平(13:27)～桧塚奥峰(14:00)～桧塚(14:17)～明神岳(15:25)～明神平(15:45)

（A班） 中級C 担当：原田佳忠

A班担当リーダーが所用にて不参加となったため、サブリーダーを引き受けた。

タクシーを降り、数年前に起きた台風の爪痕が残る荒れた林道を登山口に向かう。大阪の猛暑に比べ、大きな荷物を背負っているのに汗がでない。此処は気温が低いのかなぁ等と話ながら進む内、足並みが違ってきたので、最初の渡渉地点手前でB班と分かれる。

急登の岩場を繰り返し渡渉するうち、汗が噴出してきて全身汗まみれになってきた。それぞれに登っているので、時折互いの存在を確認しながら休息をとる。蜂が周りを飛び交うので油断できない。水場で調理用の水を汲み明神平に到着後、東屋で昼食とした。コーヒーを沸かし一息ついたが、炎天下なので、大事を取って明神岳はB班に委ねた。

陽が落ちると、テントの網目から星が見える。3 張りのテントから 4 人が出てきた。定刻に眠りについた松川さんを起こさないよう注意しながら、前田さんの解説で、空いっぱいに流れる天の川など星座を堪能した。

コースタイム

登山口(9:45)～水場(12:13)～明神平・昼食(12:30)

8 月 5 日（日） 晴 （A・B 班）合同

4 時に起床して日の出前の星座を観測する。大きな火星はすでに見えずオリオン座が東に輝いている。テントを撤収しながら素早く朝食の準備を始める。メニューは卵雑炊、大根おろしや昆布、沢庵付きで旅館並みの朝食を味わう。6 時過ぎに全員揃い北台高縦走路の国見山を目指す。水無山を越えブナ林の間を進むと、南の方角に薊岳とその奥に大普賢岳を望む。早朝の涼やかな稜線を進むと二等三角点がある国見山に着いた。記念撮影後に赤ゾレ山を西に巻いて伊勢辻山に着く。ここから大又に向け下山を開始する。三度小屋辻の分岐付近で又迫谷に入るルートが分からず尾根筋を進み山林作業者の不明瞭な踏跡を確認しながら、GPSと地形図を頼りに大又方向に進む。2 つの小ピークを越えてルートファインディングを行いながら下ると和沙羅滝付近の林道に出合う。又迫谷の渓流の橋を渡り大又の県道 220 号線に出てやはた温泉に向かう。温泉で汗を流した後、予約のコミュニティバス（タクシー）に乗る。菟田野バス停でバスに乗換え榛原に着き、近鉄電車に乗り鶴橋駅で解散した。猛暑の中、参加の皆さんの協力で無事に下山でき感謝します。

コースタイム

明神平(6:15)～水無山(6:40)～国見山(7:10)～伊勢辻山(8:25)～林道出合(11:35)～大又(11:55)～やはた温泉(12:20-13:35)＝菟田野バス停(14:36)＝榛原駅(15:16)＝近鉄鶴橋駅(16:05)

六甲山地：行者山～東観望～譲葉山～岩倉山　初級C

8月5日(日)　晴　担当:中川輝夫　参加者18名

酷暑(猛暑)で高温注意情報が出ていたが、18 人もの方々が暑さをものとせず、阪急逆瀬川駅バス停に参集。エデンの園バス停にて下車。出席を取った後、体験参加者を紹介、本日のコースの説明とストレッチをして入山準備後出発。

雲一つないカンカン照りの下のスタートだったが、コースのほとんどが樹林の下、日陰コースで皆さんに安心して頂いた。しかし、熱中症対策として、15 分毎の水分補給と休憩をすることにした。行者山入り口で、立ち休憩、水分補給後、15 分程度にて行者山(415m)に到着。藤堂さん手作りの冷たい水饅頭をみなさんで頂き感謝。行者山は展望が無く、風もないので汗だくの休憩となった。東観望への下り、登りはきついが展望が開け、暑いながら快適に東観望到着。大阪平野を見下ろし、北摂の山々、近くは甲山、五月山の展望を満喫。しかし、生駒山、二上山、葛城山、金剛山はかすんで見えず。全員の記念撮影後、譲葉山へ。六甲全山縦走路へ到着したが、譲葉山で昼食休憩予定が 30 分近く遅くなったので、途中の木陰で昼食休憩とした。

昼食休憩後、全員集まり、学習例会の資料を配布して、「傷病者救助」について安全教育を実施した。その後、六甲全山縦走路を西に行き、急登を経て、譲葉山山頂(514m)に到着、展望はなし。集合写真撮影後下山。六甲全山縦走路を東進して反射板を経て、岩倉山(488.4m)へ。岩倉山には不動明王を祀った祠があり水分補給と小休憩。これより塩尾寺(えんぺい寺)までの登山道は花崗岩の風化した真砂土の急傾斜道なので、注意を喚起して下山開始。40 分ほどで塩尾寺に到着し水分補給と休憩。塩尾寺から阪急宝塚駅までは舗装道路で、途中から炎天下の苦行の下りとなった！約1時間かけ、なんとか全員無事、阪急宝塚駅到着。猛暑の中、18名の参加者にお疲れさんと、感謝、解散した。

『岩倉山反射板概略説明:無線連絡に使われるマイクロ波は直進性が強いため、途中に山や建物が有って、直接向いあえない時に使われる』。

コースタイム

阪急逆瀬川駅バス停(9:46)＝エデンの園バス停 (10:07)～行者山(10:40)～東観望(11:00)～六甲全山縦走路(12:15)～昼食(12:45-13:10)～傷病者救助の安全教育(13:10-13:20)～譲葉山(13:35)～六甲全山縦走路～岩倉山反射板～岩倉山(13:45-14:00)～塩尾寺(14:20)～阪急宝塚駅(15:15)

夏季公開ハイク 六甲山地：ロックガーデン岩場巡り　中級Ｃ

8 月 19 日（日） 晴　担当：北川隆史　参加者 8 名

山芦屋公園にて一般参加の方の紹介、コース説明、ストレッチをして出発、高座ノ滝から高座谷を登る。奥高座滝で一休み。今日も酷暑だが、ここは涼しくてホッとする。

クライマーで賑わうキャッスルウォールは、少人数なので 10 分少々で左巻道を登り切り、巨岩が重なる頂部からの展望を楽しむ。ブラックフェイスは左巻道からスラブ上縁を登り、西面上部のテラス状で休憩した。

「ハンドジャム」と呼ばれる二本の亀裂が入った岩の前を右に折れ、岩の隙間を辿って、上部が平面の四角形をした「テーブルロック」に寄る。岩梯子から登ってくる一般ルートに合流。サンデーモーニングスラブ下の平たい岩から梯子を下り、岩小屋の辺りで昼食休憩とした。

荒地山南面の岩場をトラバースするルートに乗りプロペラ岩に向かう。枝尾根を越えて谷に下る途中、正面にプロペラ岩が見えるが、木が茂って下側が見えない。枯谷を越えてプロペラ岩の左を巻いて頂部に上がる。荒地山南尾根道を少し下って黒岩の上でゆっくり展望を楽しむ。岩の上に生えた一本の赤松が木陰を作り、風が心地よい。

荒地山頂上で集合写真を撮影後、なかみ山を経て奥高座湿地帯に下降し、宝寿水の水場で休憩。数名の先客に交じり、冷たい湧水をボトルにつめたりして、ひととき涼味を楽しむ。この水場を源流とする小川に沿って行くと魚屋道の荒地山分岐に至る。横池は広くヒツジグサに覆われていて白い花が文字通り羊のように見えた。

ロックガーデン中央稜のコースから逸れ、万物相に出る。ピラーロック跡の東側の谷に下って、B懸垂岩跡の下の広場に出る。B懸尾根は、深く切れ込んだ狭い岩棚を通過したり、岩峰の連なりを次々に越えたりして愉快に通過する。A懸垂岩の前を通り、沢から鉄塔に向けて登り返す。ロックガーデン中央稜の一般コースに合流。慎重に岩場を下降し、高座ノ滝前で解散した。

（文中、かぎかっこ内の岩の名称は江頭務著『六甲岩めぐりハイキング』創元社刊に従いました）。

コースタイム

阪急神戸線芦屋川駅（9：03)～山芦屋公園(9:10-9:23)～高座ノ滝(9:45-9:50)～奥高座滝(10:20-10:30)～キャッスルウォール下(10:35) ～キャスルウォール頂部(10:50)～ブラックフェイス頂部テラス(11:10-11:20)～岩小屋（11:45-12:10）～プロペラ岩頂部（12:36）～黒岩(12:45-13:00) ～荒地山頂上(13:05-13:10)～水場（13:35-13:45）～横池(13:55)～万物相(14:15)～B懸尾根～A懸垂岩前(14:40)～高座ノ滝（15:15）

夏季公開ハイク・六甲山地：七兵衛山(462m)　初級C

8月 19 日（日） 晴　担当:松川元信　参加者 29 名

阪急岡本駅西口に集合する。真夏の公開ハイクに多くの一般参加者が参加される。八幡神社の川向うの天井川公園で、一般参加者の紹介、会員の点呼、原田会長の挨拶、準備体操後に、3 班にグループ分けを行う。一般参加者を各々の班に 3 名ずつ振り分ける。

参加メンバーの熱中症の心配、配慮をしながら休息を多めにゆっくり進行する。八幡谷を山の神に向け進む。山の神で休息後に打越峠を越え七兵衛山に向かう。山頂には他の登山者が少なく、全員がベンチに座ることができた。ここで昼食を取り最初の集合写真を撮る。

横池に向け山頂を下り甲南パノラマ道を進む。途中の分岐から横池の雌池に下り横池で休息する。水嵩の増した池には睡蓮の花が咲き誇る。風吹岩で二度目の集合写真を撮り、高座ノ滝に向かう。予定した高座谷の分岐を通り越してしまい、中央尾根のロックガーデンを下り高座ノ滝で休息を取る。一般参加者に原田会長からやまゆき会の記念碑の案内説明をする。山芦屋公園で、ロックガーデンに下りたコース間違いのお詫びをし、クールダウンを行い、会長の挨拶後に解散した。今後、真夏の公開ハイクを担当者することになれば、体力・熱中症を考慮してコースの簡略化、短縮を図りたい。

コースタイム

阪急神戸線岡本駅(9:30)～天井川公園(9:40-10:00)～山の神(10:30-10:40)～打越峠(11:20)～七兵衛山・昼食(11:30-12:00)～横池(12:40-12:45)～風吹岩(12:55-13:10)～高座ノ滝(14:10-14:25)～山芦屋公園(14:45)

恒例 新入会員歓迎会 木陰でバーベキュー大会 北摂:武庫川支流 入門A

8 月 26 日(日) 晴 担当:運営委員一同 参加者 50 名

・今年の梅雨は大雨だった。地球温暖化のツケが回って来たのか、集中豪雨である。
やきもきしていたら、7 月 9 日に昨年より 4 日早い梅雨明けとなった。
その後は猛暑日と熱帯夜がやって来た、そんな時のBBQ大会だった。

・BBQ大会の申込みの締切日が近づいた 8 月 10 日頃は、例年の参加人数に及ばず、暑さで出足が悪いのかと思い原田会長以下、運営委員数名が例年の参加者に問い合わせると、体調不良者以外、全員が参加とのことで 50 名になった。おかげでにぎやかな歓迎会になった。

オカリナ演奏で歓喜の歌大合唱

・準備の裏方は毎年の事とは言え、大変だった。
食べ物の手配は前日に大量の食材を買いこみ、冷蔵保管、運搬が必要。細かな実施計画を組んでの購入手配等々、有志の方々の協力で実施できた。大きなスイカが川に浮かんでいた。重かったのでは…。
当日は、BBQ の炉の準備、受付・会計、食材の調理、焼きそば等多くの方々のご協力があり、窯番の方などに周りの人が自主的に参加して下さった。

・有志から山海の珍味・季節の恵み、デザート、BBQ便利用品、飲兵衛にも嬉しい差し入れなどがあった。
新入会員 10 名のうち 4 名の参加があり、既会員との親交を深めて貰った。新入会員のこれからの活躍を期待しています。参加の皆さん、有難うございました。
コースタイム (準備担当は、9:30 現地集合)

JR武田尾駅(10:35)～BBQ会場(11:00)～開会(11:10)～会食・懇親・合唱～閉会(13:40)～武庫川廃線敷ハイキング組出発(13:50)～片付完了(14:30)～JR武田尾駅解散(15:00)

JR 福知山線 廃線敷ハイキング 入門 A

8 月 26 日(日) 晴 担当:藤井眞紀子 参加者 15 名

毎年恒例となっているBBQ大会の後、武庫川沿い廃線敷ハイキングコースへ出発すべく、お腹いっぱいになって満足気な人や、ほろ酔い気分の方など 15 名が集まった。トンネル内は照明がないので、ヘッドランプ又は懐中電灯持参の確認をする。八月も終わりに近づいているのに、今日も猛暑となる。しかも、一番暑いとされる時刻からの出発だ。水分補給をこまめにす

るようにお願いし、最後尾を疋田さんにお願いしてさあ出発。

JR福知山線の廃線跡で、ハイキングコースにする為の整備が終わり、2016年11月に一般公開された。（これまでは基本的には立ち入り禁止とされていたが、ハイカーたちの間では自己責任で訪れる人気のスポットだった。）BBQ会場を出てすぐの短いトンネルを通り抜け、二つ目のトンネルを出て桜の園で立ち休憩し、水分補給をする。ここからは武庫川を右に見ながら枕木の上を歩く。そして長いトンネルを出ると赤茶けた鉄橋が見えてきた。鉄橋の線路の上は、きれいに板が敷かれ整備されているので歩き易い。この後は、武庫川を左に見ながら渓谷美を楽しむ。先日の台風のせいで水量はかなり多く、巨岩の間を流れる迫力のある水の流れにしばし足を止めて見入った。その後、最後のトンネルを出たところで休憩にした。トンネルの中は意外と暑かったが、出入り口は風が通ってとても心地よく涼しい。いつまでも座っていたい気分だったが、出口まであと少し。両側に咲くユリの花（シンテッポウユリ）を見ながら無事に出口にたどり着いた。ハイキングコースの出入口には、昨年は無かった柵が付けられていた。

全行程の殆どは木陰だったものの、やはりとても暑かった。皆さまお疲れ様でした。最終はJR生瀬駅まで歩く予定をしていたが、バスを希望される方が多かったので、バス停を確認して解散とした。

コースタイム

BBQ会場(13:50)～桜の園(14:13)～鉄橋（14：30）～最後のトンネル(15:18-15:28)～出口(15:40)